

## 事業所職員向け児童発達支援自己評価表 集計結果

### 回収率12名/12名 100%

		チェック項目	はい	いいえ	無回答他	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	12			定員で検討すると適切だと思うが新型コロナ対策で考えると十分ではない部分もある。
	2	職員の配置数は適切であるか	9	2	1	ハイリスク児の通園ということで、医療職不在での活動日もある。(追記:活動時、リハビリスタッフ・看護師が不在の際は医師の活動参加を配慮している。)
	3	生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じて、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動にあわせた空間となっているか	12			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	12			活動前後のミーティング、係会で業務の振り返りを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	12			半年に1度のモニタリング(支援の評価)、年1度の事業所評価を行っている。今年度意見交換会など集まって行う会を実施できていない。が、アンケートを実施。自己評価や第三者評価で実施し、日々の保護者からの声も合わせて改善につなげている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9		3	分からない。
	8	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか	12			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12			月1回の園内研修(きらりワークス) 園内研修に加えて通園研修も今年度実施した。 今年はオンラインでやや少なめの研修会参加。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	12			園内会議で多職種の意見をとり入れながら計画書を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12			初期評価のためのアセスメント表を利用している(エルマー)。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	12			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12			活動の振り返りに活かすような機会を持るとよい。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12			毎回のふりかえりで次のステップを確認している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12			少しずつ変化を取り入れている。GMMでエルマーは検討している。(追記:GMM…Group Monitoring Meetingの略。グループごとの活動内容検討。)
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	12			計画書への記載はないが提供プログラムとして各個人に合った個別課題(勉強)をとり入れている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12			

	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	12			当日できない場合は後日や記録で工夫している。記録等で情報共有を必要に応じてできるとよい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10		2	必須ではないが、カルテ記録ができていないこともある。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11		1	保護者と担当者間で成長の状況を確認しながらモニタリングしている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11		1	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	11		1	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10		2	就学時等移行時には密に連絡をとってすすめている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	11		1	おしどりネットの活用を看護師が中心となって整えている。おしどりネットの活用。
	25	移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11		1	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11		1	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11		1	三療育園の業務研究会が年1回行われている。コロナ禍でなければ見学など随時行っていたところ。若草学園・エールなど連携し情報交換している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	5	4	3	コロナ禍で不特定多数の人との関わりに制限がある。エルマーは並行通園なので。感染症に過敏な児もあり実施できていない。エルマーは並行通園しているので、その必要は薄いが行事等通じて交流をしたいと考えている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	1	3	努めているが共通理解となっているか不明確なところがある。地域支援担当が出席。報告書を供覧。分からない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11		1	
		31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	9		3
	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11		1	契約時の説明。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10		2	
	34	定期的に保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11		1	

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11		1	エルマー大人勉強会を実施している。クラス会を実施した。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1		必要時は書面か電話連絡をしている。個々への連絡通知やHPIにて情報発信や連絡体制をとっている。
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	12			
	39	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	6	2	4	コロナ渦で検討が必要だった。今年度は新型コロナウイルスのため制限されている。活動への参加はないが地域療育セミナーは広く一般に参加募集している。今年度は新型コロナの影響もありボランティア等すべてキャンセルしている。今年度は未実施。今年度はコロナ禍で行事等実施できず。地域療育セミナーはコミュニティチャンネルで情報発信している。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施しているか	10		2	災害時の避難方法について保護者との共有を年度内には図りたい。
	42	非常災害の備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11		1	
	43	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	11	1		確認はしたが、使えるかは自信がない。(追記:対応として、職員間で研修を行っている。)
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10		1	保護者からの聞き取りは必ず行い提供するおやつの種類に配慮している。対象者なし。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12			
	46	虐待を防止するため、職員研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11		1	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9		3	身体拘束の基準は把握しているつもりだがスタッフ間で共通認識できているのか不明。対象者なし。